



日口交流

発行: 特定非営利活動法人日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page: <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14

麻布台マンション401号

Tel: 03 (5563) 0626 Fax: 03 (5563) 0752



いたばし花火大会での夕べ

安部 花子

8月2日、いたばし花火大会に参加しました安部と申します。台風発生の影響により当日まで開催可否が分からないような状況でしたが、当日の朝10時、開催決定の表示を公式HPで確認し、喜び向かった花火大会でした。

ロシア大使館からは約60名の方が参加され、今年も1万5000発の花火が荒川の夜空を彩る「いたばし花火大会」を始まりから終わりまで全て鑑賞することができました。昨年はモスクワへの留学試験に受かった友人から前日に誘いを受けて参加しましたが、今年は前もって約束していたため、台風が早めに過ぎ去ってくれたことに安心でした。

今年もその友人が日本に一時帰国しているため、一緒に日向寺専務理事が前日から場所取りをして下さっていた広大なブルーシートの集合場所へと向かいます。集合場所に到着すると、既に多くのロシア人参加者が座っていて、遠目からでも非常に分かりやすい(笑)。料理教室やそのほかのイベントに参加した際に見かけた顔ぶれも多く、一緒に写っている写真を見せながら「ズドラストヴィチェ!」と声をかけると、向こうも私のことを思い出してくれたようで、「コンバンワ〜!」と返してくれました。

集合場所に到着するまではとにかくすごい人混みで、屋台はたくさん出ているものの既にどれも行列ができており買い食いしようにもできないことは去年の参加時に学習済み。横浜が世界に誇るペリメニ、崎陽軒のシウマイを横浜より持参しみんなで分け合って食べました。前日の夜のうちに過ぎ去った台風が大気の不純物を全て洗い流してくれたのか、雲の切れ間から真っ赤な夕焼けが美しく輝いており、ロシア人参加者たちもたくさん写真を撮っていました。

予定の19時から数分遅れて花火の第一発目が打ちあがり、花火大会がスタート! 打ちあがったとたん、参加者一同から歓声が上がります。戸田市側の河川敷と板橋区側の河川敷、どちらからも同時に高さのある花火が打ちあがるため縦幅も横幅も広く、スマホを縦にすれば良いのか横にすればよいのかパニックになる私を尻目に、高性能ビデオカメラで優雅に撮影するロシア人参加者の姿が。きっとこの日を楽しみにして準備してきたのだと思います。

日本での花火大会の由来は、江戸時代に飢饉や疫病で亡くなった魂を弔うことからはじまりましたが、ロシアにおいては花火大会という伝統はなく、5月の戦勝記念日や6月のロシア記念日、新年を迎える元旦など、国の重要な祝日にお祝いの意味をこめた「祝砲」としての役割をもつものだそうです。10〜15分程度の花火を打ち上げるそうです。しかしながら、近年はモスクワを含むロシア全土で軍事行動や絶え間ない砲撃が続いていることから、防空軍の負担を減らすために花火の打ち上げは中止になっているとのことです。今回これだけの数のロシア人参加者が集まったのには、そういった背景もあるのかもしれません。

夜空に幾重にも重なる大輪の菊の花、散り際にチラチラと煌めきながら消えていく柳、ニコニコマークや桜の花をかたどった色とりどりの花火。いつか新年の赤の広場で、日本が誇る花火師たちの匠の技をモスクワ市民と一緒に2時間たっぷり鑑賞できるような日がくれば…。ロシア留学中の友人に一週間前から場所取りするようお願いしようと思います。

お知らせ

●第27回「夢広場」

日時: 2025年11月3日(月・祝) 10:00~15:00

場所: ぽっぱ町田野外広場

* ボランティア国際交流団体による歌や踊り、民芸品販売等

●在日ロシア人との気軽な懇話会

日時: 2025年11月19日(水) 18:00~(予定)

場所: 飯田橋「はなび」

講師: シェチーニン・パーヴェルさん、アンジェラさん

●日本料理講習会

日時: 2025年11月22日(土) 9:30~12:00

場所: 田町「リーブラ」料理室

●ロシア語の泉(16)

2026年1月18日、2月15日、3月15日(日) 13:30~16:00

授業料: 会員7000円、一般8500円(全3回)

講師: スニトコ・タチヤナ

●ロシア語教室生徒募集中!

レベル別クラスを日本語堪能、経験豊富なロシア人教師陣が担当いたします。プライベート、オンラインレッスンもあり見学も1回可能です。事務局までお問い合わせください。

* 定期的な教室で受講ご希望の方は、入会していただくことになりますのでご了承ください。

Fax: 03-5563-0752 E-Mail: nichiro@nichiro.org

お願い

NPO 日口交流協会では、ロシアでの日本の伝統文化などの紹介、国内でのロシア関連の学習会、ロシア人とのイベント交流など幅広い活動を続けています。これらの活動を一層推進させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。一口千円からいくらでも結構です。なお、寄付とわかるようにお名前の前に番号「01」と入れてください。

振込先: 郵便口座 00160-9-66486、加入者: 日口交流協会

連絡先: 日口交流協会事務局 E-Mail: nichiro@nichiro.org

露日協会アルタイ支部からの手紙

第二次世界大戦終結の年の9月3日、露日協会アルタイ支部は、1944年から1946年の戦時中、運命の導きによりアルタイ地方に捕虜として送られ居を構えた日本人の墓地で追悼式を挙行しました。露日協会会員は亡くなられた日本人の方々の記憶を偲び、慰霊碑に白い花束を捧げました。ご遺族の方々がご先祖様の運命に無関心ではないことを私たちは知っています。日本の報道資料から、ご遺族の方々がご先祖様の安否を知りたがっていることを私たちは知りました。アルタイでは、ご先祖様が異国で過ごした困難な日々を今も覚えていることをお知らせいたします。この書簡には、支部書記ドミトリー・ヴァチェスラフ・ノヴォセロフが、わが国の地における日本人の生活状況に関する資料を収集した記事を添付いたします。この記事の掲載が、私たちの友好的な一歩となりますように。

2025年9月3日

ロ日協会アルタイ支部会長 ヴァチェスラフ・ノヴォセロフ
(抜粋)

1945年9月1日付の赤軍参謀本部の通達によると、捕虜6千人は建設人民委員部に割り当てられ、ルプツォフスクのトラクター工場とバルナウルの第7工場および第77工場の建設に従事した。千人は鉄道人民委員部とバルナウル客車修理工場に、3千人はゾロトウシンスキー鉱山管理局に、4千人はバルナウルとビスクのボイラー工場の建設完了のために重機人民委員部に配置された。

1945年末、ビスクに日本人捕虜を乗せた最初の列車が到着し始めた。また、1945年から1946年の冬には約100～150人の別の捕虜集団が、ボロヴリャンカ村の収容所で伐採任務に従事していた。多くのロシア人労働者は、彼らの驚くべき勤勉さと努力を称賛した。ビスクには、日本人が建設した住宅、工業施設、道路、橋、そして墓地が残された。一般の日本人捕虜の服装は、耳当て付きの帽子、肘で留められる袖付きの軍用防寒着、ストラップ付きの三本指ミトン、綿の入ったズボン、フェルトのブーツ。しかし厳しい気候に慣れていない日本人は寒さに苦しんだ。

2007年、ビスク市に、捕虜として亡くなった日本人捕虜の慰霊碑が建立された。慰霊碑は、実際に埋葬された場所ではなく、近代的で保護された北方墓地の敷地内に建てられた。

第二次世界大戦は、参戦国すべてに計り知れない災難をもたらした。そして、あの恐ろしい出来事から80年が経った。戦争の参加者や目撃者のほとんどは既に亡くなっており、生き残った人々も体験の記憶を失いつつある。だからこそ、私たちの義務は過去を記憶するだけでなく、新たな戦争を防ぐために過去の教訓を学ぶことだ。アルタイの住民は、自らの地域の歴史を心に刻んでいる。

ロシア日本協会アルタイ支部事務局長 ドミトリー・ノボセロフ

100年前の「日ソ基本条約」締結と函館

倉田 有佳

1925年1月20日、北京で「日ソ基本条約」が締結された。1922年ドイツ、1924年イギリス・イタリア・フランスに次ぎ、日本政府はソヴィエト政権を正式に承認したのである。

この知らせに函館は沸いた。2月11日の紀元節に市長主催の立食による祝賀会が開かれ、税関長、商業会議所会頭、露領水産組合北海道支部長、市内在住の7名のロシア人（主に漁業関係者）を来賓に迎え、約600人の市民が公会堂に集った。同夜、市中では商工連合会主催の提灯行列が練り歩き、約5000人がこれに参加した。

ソ連領事館誘致運動、そして歴史的つながりが考慮され、見事函館は設置場所に決まった。新任領事（同年5月に東京にソヴィエト大使館が開館するまでの身分は「査証委員長」）に選ばれたアレクサンドル・ニコラエヴィチ・ロギーノフは、3月下旬に妻を伴しモスクワを発った。ウラジオストクでは露領水産組合東京本部員が出迎え、ウラジオストクからの船が到着する敦賀港では日魯漁業㈱の近藤通訳が出迎えた。いよいよ青森からの船が函館に到着すると、官民有志約70名で待ち受けた。ロギーノフは、「日本側の厚遇に好印象を抱いた」、と地元記者に語っている。

4月19日から査証の発給事務が始まり、6月10日に「堤倶楽部」（元米国領事キングの邸宅）で領事館の開所式が執り行われた【写真】。函館には帝政ロシア時代にロシアの官費で建てられた領事館固有の建物があったのだが、1912年に着任し1925年2月に離函したE. レベデ



左から佐藤孝三郎市長、一人置いてA. ロギーノフ領事

フ領事が、日本人大工を建物内に入れることを避けたため、大掛かりな修繕後に移転することになっていた。

このレベデフ領事は、カムチャツカの漁場に向かうための査証の発給を故意に遅らせることがままあった。その苦い経験から、新任のソ連領事との良好な関係構築に全市を挙げて取り組んだのである。ロギーノフ領事が、モスクワの大学を卒業したばかりの若く、「極めて平民的で、誰と話す時も壁を設けない」ことに函館の人たちは「非常に好感」を抱いた。

だが、治安維持法が制定された4月の函館の地元紙には、友好ムードを伝えると同時に、「赤い露西亜」への警戒心を煽り立てるような記事も掲載されている。

同時期のロシア人社会に目を転ずれば、日ソ国交樹立の結果、日本軍は保障占領していた北樺太からの撤兵を決定したため、軍政部に雇用されていた「親日派ロシア人」等が、ソヴィエト化の進むサハリンから函館に避難してきた。4月23日に市主催の新任領事歓迎会が開催された「萬世ホテル」に

宿泊中の者もいたが、いずれも函館に長くは留まらず、本州方面へ向かった。

1925年に157人を数えた函館在住ロシア人も、この年を境に、「旧露国籍者」は在京ソヴィエト大使館から「ソ連国籍取得」か「無国籍」か、選択を迫られる。

一地方都市とは思えぬほど、日ソ国交樹立で揺れたのが、100年前の函館だった。

（ロシア極東連邦総合大学函館校教授）

ウズベキスタン便り

フェルガナ州の学校の様子から

加藤 三加子

ウズベキスタンの公立学校には1年生から11年生まで日本という小学生から高校生までが1つの学校に通っています。そのため、校内の廊下を歩くと小さな子や大きな生徒ともすれ違います。長く小学校に勤務していた私には、なんとも不思議な光景でした。

日本の場合小学校では、音楽や図工、希に理科などが専門の先生が担当して授業を行い、それ以外の教科については、ほぼ担任が授業を担当します。ウズベキスタンの学校の授業は、基本的に教科担任制で教科ごとにその教科の専門の先生が授業を担当します。音楽はもちろんですが体育、英語、ロシア語、情報(PC)、学校によっては道徳なども専門の先生が授業を担当しています。図書室にも専門の先生がいて、指導をしていました。

私が多く見せてもらった授業は算数でしたが、毎日扱う教科書のページが決められていて、1年生では見開きの2ページ分、4年生では3ページになっています。扱う問題数がとても多く、計算や文章問題など日本以上に繰り返しの反復の計算練習や単位換算に取り組んでいます。驚いたことは、1年生でも x を求める計算をしていました。



また、2年生でかけ算九九の学習をしますが、同時にわり算の学習も同時に進めていきます。具体的には、今日2の段の九九を学習したら、翌日は2で割るわり算を学習して、その翌日は3の段の九九、そのまた翌日は3で割るわり算に…という進め方です。また、かけ算九九の学習の順序が1の段から2の段、3、4…という順番だということなど、お国変われば授業の進め方も、学習の計画も変わっていることがとても興味深く感じられました。

また、私は各学校を回ってかけ算九九を使ったゲームを紹介する授業をさせてもらいました。そのような活動はあまり扱われていない様子でした。やってみると、生徒達が日本の

生徒以上に勝負に熱くなり、また、積極的に楽しんで取組んでくれました。もともと、かけ算九九の暗記には先生方もとても熱心な指導をされていたようで、生徒達が九九をよく覚えていたことでゲームがとても盛り上がりました。

「先生！また一緒に勉強しましょう。」と手を振ってお別れしたことも心に残りました。

(フェルガナ州 教育アドバイザー)

2025年夏 ウラジオストク・ハバロフスク訪問記(前)

岡崎 好典

私は、2025年8月29日から9月5日まで、極東ロシアのウラジオストクとハバロフスクに行っていました。あくまでプライベートな旅行の話なのですが、参考までに、実際に体験したこと、見てきたことを可能な範囲でご報告したいと思います。

今回、極東ロシアに行く目的は二つありました。一つめは、ウラジオストク・ハバロフスク間のシベリア鉄道に乗車すること、二つめは、ハバロフスク在住の私のパートナーに会うことでした。一つめの目的については、現在、私が大学で観光交通論という科目を担当しており、シベリア鉄道について紹介をしようと思うのですが、私が前回(卒業旅行で)乗車した1986年2月はウラジオストクが閉鎖都市であった関係で、ウラジオストクから乗車することができず、ハバロフスク・モスクワ間しか乗車することができなかったためです。また、教員の任期が来年までなので、今年行くしかないと思ったわけです。

今回の行程は、8月29日の朝、羽田を出発し、北京乗り換えでその日のうちにウラジオストクに到着し、31日の夜、ウラジオストクから列車に乗り、9月1日の朝にハバロフスクに到着し、2日の夜、ハバロフスクから列車に乗り、3日の朝、ウラジオストクに戻り、4日の夕方、ウラジオストクから北京に飛び、北京で泊まり、5日に羽田に戻ってくるというものでした。

ホテルの予約ですが、日本のクレジットカードの利用ができないためでしょうか、「agoda」等のアプリでは予約ができなかったです。また、どのホテルがいいのかの情報もなかったため、パートナーに予約を頼んでしまいました。ただ、ホテルのホームページなら予約はできそうでした。

鉄道についても、往路はパートナーと乗ることになっていたことから、往復ともパートナーに頼んでしまいました。参考にならず、申し訳ないです。なお、調べたい方は、

「RailRussia.com」をご覧ください。列車のベッドの選択もできるようになっています。なお、航空券は「Trip.com」で予約できたので、羽田・北京間、北京・ウラジオストク間の中国国際航空の便を予約しました。往路は同日乗り換えのため、チケット代は割高でしたが、初めてだったので、スムーズな移動を優先しました。

ホテルと鉄道、航空券の予約の後に電子ビザを申請しました。有料にはなったものの、以前のようにバウチャーを用意したり、パスポートを預けたりすることもなく、オンラインで申請し、4日間で発給されるので、便利だと思いました。

無事、電子ビザを取得し、いよいよ出発です。8月29日の朝、羽田空港の中国国際航空のチェックイン・カウンターでチェックインすると、北京・ウラジオストク間のチケットも含めて発券してくれたのですが、ロシアに行かれる方はカウンターの端に立っている人のところに立ち寄るようにと案内されました。その人のところに行くと、その方は税関職員のように、ヒアリングシートに基づき、渡航目的や所持金等について確認され、ヒアリングシートの末尾に署名をさせられました。これは「外国為替及び外国貿易法」による金銭等の持ち出しの制限にかかわるものだと思います。

羽田を出発し、北京首都空港で荷物検査を受けてウラジオストク行きに乗り継ぎ、17時20分ごろウラジオストク国際空港に到着しました。13年ぶりのロシア、無事着いてほっとしたのですが、実はここからがたいへんでした。(続く)

(副会長)

電車の自動音声「次の駅は…」男性か女性の声か

大原 翔

最近たまたま目にとまった新聞記事（朝日新聞9月4日）によると、日本で自動音声に使われているのは女性の声が圧倒的に多い。電話をかけて「あなたのおかげになった電話番号は現在使われていない・・・」というのも女性の声だし、銀行のATMでの自動音声、バスに乗れば行先案内のアナウンスも女性の声、乗車券の自動販売機、エレベーターなどなど。

あまり意識していなかったが、鉄道の車内放送はどうなのか気になり、先日、注意して利用してみた。私がよく利用する都内の路線は女性の声だった。この新聞記事によると、東京の地下鉄の駅のホームでは、上りを女性の声、下りを男性の声に統一しているようだ。

何十年も昔の若い頃の話で恐縮ながら、モスクワで語学研修のため毎日学校の往復で地下鉄を利用していた。地下鉄で聞く自動音声は、今も記憶に強く残っている。「気をつけてください。ドアが閉まります。次の駅は〇〇です」という定型の音声である。毎日、同じ音声を反復して聞いていると、駅名の発音やアクセントのみならず、文章全体のイントネーションもきちんと頭にしみこんでくる。それなりにロシア語学習においてプラスになっていたと思う。だが、男性の声だったか女性だったか全く記憶にない。

モスクワの友人に現状を聞いてみたところ、すぐ以下のような返答が来た。モスクワでは、都心に向かう電車では、男

性の声、逆に都心から郊外に向かう電車では女性の声で自動音声が流れるとのこと。また、環状線の電車では、時計周りは男性の声、反時計周りは女性の声となっているとのこと。これは視覚障害の方々が、電車の方向を音声で簡単に識別できるように配慮したものであると。

また一方で、真偽のほどは定かではないが、冗談のような理由付けが市民の間でささやかれているようだとのことだった。都心に向かう地下鉄一職場が都心にあり上司（男性）が呼ぶので男性の声、郊外に向かう地下鉄一自分の家に帰るので妻が呼ぶ故、女性の声ということもあるとのこと。

一方、ロシア第2の都市、サンクト・ペテルブルクでは、長年にわたり、地下鉄は有名男性俳優の自動音声流されていたのだが、現在では、女性の声も導入されている状況。行先などによる明確な区別はないらしい。

モスクワなどの地下鉄の路線も延伸されたり、新しい路線が建設され大きく変わっているようだ。ただ車内の定型自動音声の案内は昔と同じようだ。長い間、モスクワやサンクト・ペテルブルクに行っていない。近いうちに訪問して懐かしき自動音声「気をつけてください。ドアが閉まります。次の駅は〇〇です」を聞いてみたい。ドアが閉まらないうちに。

夏の夜明けは深夜(4)

浜野 道博

北国ロシアのように夏の日照時間が著しく長いと、人が起床し就寝するまでの活動的時間帯を日照時間に重ねると電力消費が節約される。そのため例えば（北半球で）3月末から9月末まで時計の針を1時間進めることを「夏時間」と呼んでいる。かつてソ連・ロシアで生活された方には懐かしく思い出されるだろう。

しかし、年に2回時計の針を進めたり、戻したりすることが健康に良いはずがない。夏時間への移行は土曜日から日曜日にかけての深夜に行われ、夏時間移行後最初の月曜日の朝冬時間より1時間早起きをしたモスクワ地下鉄の乗客の顔色はさえなかった。交通機関の時刻表の切り替えも厄介で日本からソ連・ロシアに出張する際飛行機のフライト時間を間違えないように注意を払ったものだ。

結局夏時間の実施には相応の社会的コストがかかり、そのうち経済効果も怪しいと言われてロシアは2014年に夏時間を最終的に止めてしまった。現在ロシアでは2014年までの「冬時間」が夏も冬も通年用いられており、モスクワ時間はグリニッジ標準時+3時間、日本時間-6時間となっている。

この「冬時間」はロシアでは別名「法定時間」とも呼ばれている。実は1930年にロシア全土で1時間時計の針を進めて夏時間を始めたのだが、それを元に戻さないままそれをいつの間にか「法定時間」と呼ぶようになった。つまり、今のロシアの時間は全土通年でそもそもが夏時間なのだ。

現在夏時間は世界の60を超える国・地域で導入されてい

る。ヨーロッパのほとんどの国が夏時間を採用しているなか夏時間を止めたロシアが孤立しているように見えるが、現行のロシア時間が通年夏時間という消息は上に見た通りである。

ロシアにおける夏時間は1917年臨時政府がその年の7月に導入したのを嚆矢とする。薪の節約が導入の目的とも言われるが真偽のほどはわからない。

閑話休題。

「ソビエト暦」と呼ばれる独特な暦が1929-1940の約10年間ソ連で使われていたことをご存じだろうか。「ソビエト暦」は革命後の混乱が収まり集団化・工業化が進む中で、フランス革命暦の影響を受けて策定された。1年を12ヶ月に分け、ひと月はどれも30日として、計360日の末尾に5日（閏年は6日）が加えられ1年とされた。各月は1週5日からなる6週から成っていた。週日の名称は変わらなかったが、宗教的な理由で土曜日と日曜日がなくなっていた。人々は4日働いて1日休むのだが、全土一斉休日がなく、生産現場が常に稼働するよう人々は一日ずつずらして休日を取っていた。

こういう暦では集団的余暇が成立せず、家庭生活も社会生活も惨憺たる状態になった。そのため2年後の1931年にソビエト政府はそれまでの週5日を6日にし、6日目を一斉休日としたが、人口の多数をしめる農民は相変わらず週7日単位の農事暦や教会暦にそって生活を続けた。1940年ソビエト政府はなすすべなく元の週7日制に戻し、ソビエト暦はフランス革命暦と同じ運命をたどり人々から忘れられた。

Russian TEA

映画・音楽・演劇

アート・テレビ・講演会

ロシア関連情報紙



発行：日ロ交流協会 / 〒106-0041東京都港区麻布台3-4-14-401 / TEL03(5563)0626 FAX03(5563)0752 / E-mail:nichiro@nichiro.org / http:www.nichiro.org

- 『ロシアン・ティ』は日ロ交流協会が会報『日ロ交流』の付録として発行するロシア関連情報誌です。日本(主に関東周辺)におけるロシアと一部東欧の関連情報を最大限掲載します。ここに掲載なさりたい情報がございましたら協会事務所(TEL03-5563-0626/Fax03-5563-0752 または郵送)までお送りください。情報掲載料は無料です。見本が必要な方は協会事務所へご連絡下さい。
- 掲載された情報についての問合せは全て掲載している問合せ先((問)と記載)にお願いします。情報には正確を期しておりますが、掲載内容に間違いがあった場合の責任は負いかねます。足を運ばれる前に会場等へご確認の問合せをお勧めします。

◆◆◆ 日ロ交流協会関連情報 ◆◆◆

- ・ロシア語教室生徒募集中！定期コースのロシア語クラスは会員の方々のためのリーズナブルなロシア語講座です。入門から初中上級まで、レベルに合わせてクラスを選べます。プライベート、オンラインレッスンも実施。見学も1回のみできますので事務局までご連絡お問い合わせください。
- ・ロシア語の泉 (16) / 2026年1月18日、2月15日、3月15日 (日) 13:30~16:00 / 会員7000円、一般8500円 (全3回) / スニコ・タチヤナ先生
- ・第27回「夢広場」/ 11月3日 (月・祝) 10:00~15:00 / ぽっぽ町田野外広場 / ボランティア国際交流団体による踊りや演奏、民芸品販売など
- ・在日ロシア人との気軽な懇話会 / 11月19日 (水) 18:00~ (予定) / 飯田橋「はなび」
- ・日本料理講習会 / 11月22日 (土) 9:30~12:00 / 田町「リーブラ」料理室

*会場等、変更の場合もありますのでメール、FAXで事務局までお問い合わせください。

*お願い：NPO日ロ交流協会ではロシアでの日本の伝統文化などの紹介、国内でのロシア関連の学習会、ロシア人とのイベント交流など幅広い活動を続けています。これらの活動を一層推進させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。一口千円からいくらでも結構です。お振込みの際は寄付であることが分かるようにお手数ですがお名前の前に番号「01」をお入れください。どうぞよろしくお願いいたします。振込先：郵便口座00160-9-66486、加入者名：日ロ交流協会／連絡先：日ロ交流協会事務局。E-Mail: nichiro@nichiro.org.

★★★★ 映画 ★★★★★

- 第18回 ロシア語映画 発掘上映会「針 REMIX」/ 11/2 (日) 14:00 / 港区札の辻スクエア11階 ホール小 / 14:00 沼野充義 東京大学名誉教授によるプレトーク「ヴィクトル・ツォイを断固支持する」、14:40 日本語字幕付き上映、旧友の所に借金の回収に行ったモロは、薬物依存に陥っていたかつての恋人と会う。彼女を助けると麻薬取引の首謀者に狙われて対峙する事となる。/ 全席指定一般1500 学生・60歳以上1000 / (問) acesquare2023@gmail.com

- 「アルセーニエフとデルス 黒澤明のロシアの夢」/ 11/26 (水) 14:00 / 浜離宮朝日ホール 小ホール / 黒澤明監督が制作した「デルス・ウザーラ」50周年、黒澤明生誕115周年を記念して、リンダ・バフマネ監督のドキュメンタリー映画を上映。バフマネ監督の記念講演あり。/ 全席自由1000 / (問) ロシアン・アーツ 03-5919-1051

★★★★ バレエ ★★★★★

- Ballet Muses〜バレエの美神 2025〜/ 11/1 (土) 13:00、17:00 / 東京国際フォーラム ホールC / 「くるみ割り人形」よりグラン・パ・ド・ドゥ (マリア・ホーレワ & マカール・ミハルキン)、「ドン・キホーテ」よりグラン・パ・ド・ドゥ (エリザヴェータ・ココレワ & ダニール・ポタプツェフ) / SS22000 S19000 A15000 B11000 C8000 25歳以下4000 / (問) 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

- キーウ・クラシック・バレエ「チャイコフスキー夢の3大バレエ名場面集」/ 11/6 (木) 14:00 / 東京文化会館 大ホール / 「くるみ割り人形」、「白鳥の湖」、「眠れる森の美女」より / 全席指定5500 / (問) インプレサリオ東京チケットセンター 03-6264-4221

★★★★ コンサート ★★★★★

- 合唱団白樺 第66回定期演奏会 / 11/1 (土) 14:30 / 新宿文化センター 大ホール / 指揮：田邊賀一、合唱と舞踏：野に立つ白樺、アムール河の波、中山英雄に捧ぐ三重奏：北川翔Balalaika、大田智美Acc、浜野与志男Pf / S3000 A2500 B2000 / (問) 合唱団白樺 info@g-shirakaba.net

- 青山学院管弦楽団 第127回定期演奏会 / 11/3 (月・祝) 14:00 / 東京オペラシティ コンサートホール / 指揮：碓山隆一郎、グラズノフ：交響詩「ステンカ・ラージン」Op. 13、チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調Op. 64 / S1500 A1000 / (問) 青山学院管弦楽団 ago.concert@gmail.com

- 二期会ロシア東欧オペラ研究会 第16回定期演奏会 創立25周年記念演奏会「ロシア東欧オペラ・ガラ・コンサート」/ 11/4 (火) 19:00 / すみだトリフォニーホール 小ホール / 指揮：長田雅人、岸本力Bas、古川精一Bar、宮崎純子Sop、小笠原貞宗Pf、ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より イーゴリ公のアリア「疲れた魂には眠りも休息もない」、リムスキー=コルサコフ：歌劇「ムツェンスク郡のマクベス夫人」より ボリスの歌「俺は腹が減ったぞ」/ 全席自由一般4000 学生3000 / (問) 二期会チケットセンター 03-3796-1831

- ロシア民謡アンサンブル ルースカヤ・ヤルマルカ / 11/6 (木) 18:30 ルーテル市ヶ谷ホール 全席自由2000、11/8 (土) 18:30 紀尾井町サロンホール 全席自由1500 / パヤン・バラライカとロシア民謡の世界、ステンカ・ラージン、モスクワ郊外のタベ / (問) 株式会社ロシアン・アーツ 03-5919-1051

- ニコライ・クズネツォフ ロマンティック・ピアノ・リサイタル / 11/6 (木) 19:00 / ヤマハホール / チャイコフスキー：「四季」-12の性格的描写、ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番「月光」 / 全席指定4500 / (問) オフィスRyo 090-1987-4183

- 新日本フィルハーモニー交響楽団 すみだクラシックへの扉 #34/11/8 (土) 14:00/すみだトリフォニーホール 大ホール/指揮: 藤岡幸夫、神尾真由子Vn、チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲ニ長調Op. 35/S一般5500 Sシニア4000 S25歳以下2000 A一般2800 A25歳以下1000/ (問) 新日本フィル・チケット ボックス 03-5610-3815
- ジャニーヌ・ヤンセンVn & デニス・コジュヒンPf デュオ・リサイタル/11/13 (木) 19:00/東京オペラシティ コンサートホール/シューマン: ヴァイオリン・ソナタ第1番イ短調Op. 105、ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調Op. 100/S9000 A8000 B6500 C5000/ (問) ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212
- キリル・ペトレンコ指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団/11/19 (水) 19:00/サントリーホール 大ホール/ヤナーチェク: ラシュスコ舞曲、ストラヴィンスキー: バレエ音楽「ペトルーシュカ」/S50000 A47000 B44000 C40000 D35000 E30000/ (問) クラシック事務局 0570-012-666
- ドミトロ・ウドヴィチェンコ&ミカエル・ロポネン デュオコンサート/11/20 (木) 19:00/東京文化会館 小ホール/ヤナーチェク: ヴァイオリン・ソナタJWV7/7、ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン・ソナタト長調Op. 134/全席指定4000 学生または23歳以下2525/ (問) 一般社団法人MCSヤングアーティスト 080-3154-9880
- 日本フィルハーモニー交響楽団 第412回横浜定期演奏会/11/22 (土) 15:00/横浜みなとみらいホール 大ホール/指揮: 太田弦、牛田智大 Pf、チャイコフスキー: 交響曲第5番ホ短調Op. 64/S9500 A8000 B7000 C6000 P5000 25歳以下2500/ (問) 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911
- フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団 第78回演奏会/11/23 (日・祝) 14:00/すみだトリフォニーホール 大ホール/指揮: 矢崎彦太郎、金子三勇士Pf、チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番、ラフマニノフ: 交響曲第2番/S3000 A2500/ (問) PEO事務局 03-3565-6383
- リコーフィルハーモニーオーケストラ 第77回演奏会/11/24 (月・祝) 13:30/すみだトリフォニーホール 大ホール/指揮: 碓山隆一郎、ハチャトゥリアン: 組曲「仮面舞踏会」、チャイコフスキー: 交響曲第6番ロ短調「悲愴」/全席指定1500/ (問) リコーフィルハーモニーオーケストラ 03-3777-8111
- 清水和音 ピアノ・リサイタル/11/24 (月・休) 14:00/サントリーホール 大ホール/スクリャービン: 4つの前奏曲Op. 37、ラフマニノフ: 楽興の時Op. 16/S6600 A5500 B4400/ (問) サンライズプロモーション 0570-00-3337
- ダニエル・ハリートノフ ピアノ・リサイタル 名曲の祭典/11/29 (土) 13:00/東京オペラシティ コンサートホール/パーヴェル・パプスト: チャイコフスキー・バレエ「眠れる森の美女」による演奏会用パラフレーズ、ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」/全席指定5500/ (問) インプレサリオ東京 info@impres-tokyo.com
- N響 第2051回定期公演Aプログラム/11/29 (土) 18:00、11/30 (日) 14:00/NHKホール/指揮: ファビオ・ルイーゼ、レオニダス・カヴァコスVn、ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調作品77/S11000 A9500 B7600 C6000 D5000 E3000/ (問) N響ガイド 0570-02-9502
- 3大ピアノ協奏曲の響演/11/30 (日) 14:00/東京オペラシティ コンサートホール/指揮: 渡邊一正、若林顕Pf、東京フィルハーモニー交響楽団、チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番変ロ短調Op. 23、ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番ハ短調Op. 18/S8500 A7500 B6500/ (問) サンライズプロモーション 0570-00-3337
- 東京交響楽団 フレッシュ名曲コンサート/11/30 (日) 15:00/ルネこだいら 大ホール/指揮: 出口大地、角野未来Pf、ムソルグスキー=ラヴェル: 組曲「展覧会の絵」/S3500 A3000 B2500/ (問) 公益財団法人小平市文化振興財団 042-346-9000

★★★★ 新刊 ★★★★★

- 北方領土を知るための63章/明石書店/名越健郎、大野正美他編著/ 2640円/旧ソ連の占領から80年を経て、日本の主権や領土保全など、北方領土の現状や歴史と未来を改めて見る。
- ポーランドのなかのウクライナ/群像社/田口雅弘、岡崎拓、金子泰 /990円/ロシアのウクライナに対する軍事侵攻はウクライナの隣国ポーランドに大きな影響を及ぼしている。ポーランドと深い関係にあった西部ウクライナの歴史を振り返り、いち早く軍事的・経済的支援を表明し大量の避難民を受け入れたポーランドの現状を明らかにし、両国の経済関係と戦後復興に向けた動向を見る。
- 『USSR 1991』[新版]/ PCT / 北島敬三著・写真 /9900円/1991年、崩壊間近のソ連に渡り、15の共和国に滞在しながら、数回にわたって撮影を行った作品群。
- 『Curricula Vitae 日本ロシア文学会75周年記念インタビュー集』昭和の時代から現代まで、各専門の立場から日本ロシア文学会活動を支え、リードされた様々な世代の会員 (佐藤純一、岡本崇男、中澤英彦、栗原成郎、伊東一郎、桑野隆、安岡治子、川崎淡、渡辺雅司、リュドミラ・エルマコワ、生田美智子、宇多文雄) へのインタビュー (自分史) 収録。日本ロシア文学会の以下WEBにて無料公開。https://jaar. jpn. org/wp-content/uploads/2025/10/CurriculaVitae. pdf
- 赤い密約/集英社文庫/今野敏著/ 726円/1993年10月3日、モスクワのテレビ局を訪れていた日本の空手家・仙堂辰雄は、時の施政者に反旗を翻すクーデターに遭遇する。緊迫のアクション長編。

★★★★ その他 ★★★★★

- 「ロシア・なび」/ロシアの文化、言語、そして、伝統の奥深い魅力へとあなたを導くパーソナルガイド。読む・見るだけでなく、触れて、感じて、新しい発見とインスピレーションをお届けします。サイト: https://jp. gw2ru. com https://jp. gw2ru. com/pages/about